

校長室の窓から

虫のいい話？

先日、自宅の庭で草取りをしていたところ、今まで見たことのない虫を見つけました。以前の勤務校でよく、子供たちから「校長先生、この虫は、なんていう虫ですか？」と聞かれることがあり、いつでも答えられるように、虫をスマホで撮影すると、すぐに虫を判別して、名前が出てくるアプリを入れていました。そこで、すぐにスマホで撮影したところ、「ヨコヅナサシガメ」と出てきました。

何だか名前からして、いかにも危険な虫のように感じ、草取りは中断して、“この虫”を詳しく調べることにしました。



〔刺す〕 恐怖の注射針 ヨコヅナサシガメ 〔生態について〕 分類：カメムシの仲間、住んでいる地域：本州（関東地方以西）～九州、大きさ：16～24mm、成虫が見られる時期：4～10月

ヨコヅナサシガメのQ&A Q1：「どこにいますか？」⇒公園や街路樹などの、サクラやケヤキ、エノキ、ヤナギ、クスといった高い木を中心に暮らしています。普段は木の高い場所にいるので気が付かないのですが、6～7月頃の産卵期の時期になると幹の下の方に下りてきます。Q2：「刺す理由は何ですか？」⇒サシガメの仲間は、注射針のような口を獲物の体に突き刺して体液を吸う、肉食の昆虫です。また、食事の時以外でも、危険を感じると身を守る為に刺します。Q3：「刺されたらどうなりますか？」⇒チクッとした痛みがして赤く腫れることがあります。痛みはやがてかゆみに変わり、一週間ほど続くこともあります。〔名前の由来〕 名前の「ヨコヅナ」は、お腹のふちの白黒のしま模様が相撲で用いられる「化粧まわし」に似ていることが由来です。HP:アース製薬「危険な虫ケア図鑑」より抜粋

みなさんは、この「ヨコヅナサシガメ」という虫、見たことがあるでしょうか？生息地は関東地方以西～九州と書いてあるとおり、どおりで見たことがないわけです。これは、生息地がだんだん北に広がっている証拠なのか？それは、温暖化のせいなのか？産卵するために下に降りてきたんだな、何も家の庭に降りて来なくともいいのに、などなど・・・いろいろと考えてしまいましたが、とにかく、注射針のような口で刺す怖い虫なので“触ってはダメ”だということが分かりました。

この虫の動きはゆっくりで、こちら側から何もしなければ、危険はないので、虫の動きを観察しながら草取りを再開しました。子供たちが大好きなダンゴムシの他に、身近にいろんな虫がいます。子供たちが、名前が分からないような虫を発見した時は、危険な虫なのか、そうではないのか「調べる習慣」をぜひ、付けてほしいものです。「新種の発見！」があるかも・・・。